

ドイツ語のジェンダー問題

1. 男性名詞ないし女性名詞が無い単語

すでに説明したように、人の身分や職業を表すドイツ語には男性形（男性名詞）と女性形（女性名詞）が存在しますが、例外もあります。例えば、幼稚園の先生 **Kindergärtnerin** には後者しかありません。語尾の **in** をとると、**Kindergärtner** になりますが、それは正しいドイツ語ではなく、男性の幼稚園の先生は **Erzieher** と呼ばれます。

男性名詞	女性名詞
Kindergärtner ↓ Erzieher	Kindergärtner

2. 男性名詞と女性名詞で内容が異なる単語

男性名詞と女性名詞では内容が異なる場合もあります。例えば、男性名詞の **Sekretär** は一般に書記長や事務局長を指しますが、女性名詞の **Sekretärin** は秘書（管理職に就いていない事務員）を指します。

3. 女性名詞が削除されたり、複数形は男性名詞を用いる場合

女性名詞は使用されないことも少なくありません。

例えば、「従業員募集」は „Mitarbeiter gesucht“ と表記されますが、その „Mitarbeiter“ は男性名詞で、男性従業員を指しています。実際には、性別を問わず、従業員を募集している場合であっても、女性従業員を指す „Mitarbeiterin（複数形であれば、Mitarbeiterinnen）“ は省略されることがあります。

これには男女混合の複数形には男性名詞の複数形を用いるといったことが影響しています。例えば、男性従業員の複数形は **Mitarbeiter**、女性従業員の複数形は **Mitarbeiterinnen** ですが、男女両方いる場合の複数形は **Mitarbeiter** となります¹¹。



¹¹ 学校の先生も「生徒達」を、男性名詞の複数形である **Schüler** を使って表現します。

	単数形	複数形
男性従業員	Mitarbeiter	Mitarbeiter
女性従業員	Mitarbeiterin	Mitarbeiterinnen
男性と女性の従業員	—	Mitarbeiter

※ なお、男性従業員の Mitarbeiter は単数形と複数形が同じです。

近年、このようなドイツ語は批判されるようになりました。そのため、Mitarbeiterinnen を付け、**„Mitarbeiterinnen und Mitarbeiter gesucht“**¹² と表記されるようになりました。なお、ドイツ語では女性の方を先に挙げます。

しかし、これでは文が長くなります。それを簡潔にするため、**„Mitarbeiter*innen gesucht“** とすることが多くなりました。* は Gendersternchen (ジェンダー・シュテルンヒェン) と呼びます。

(従来) Mitarbeiter gesucht

(現在) Mitarbeiter*innen gesucht

¹² 男女どちらかの従業員を一人のみ募集する場合は、単数形の Mitarbeiterin と Mitarbeiter を oder (または) でつなぎ、**„Mitarbeiterin oder Mitarbeiter gesucht“** とします。